



FF-COMFORT

WINS CROWN HELMET

取扱説明書

このたびは、当製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書はお買い上げいただいたヘルメットの正しい取扱い方法について説明してあります。

ご使用前には必ず最後までお読みください。

また、お読みいただいた後は大切に保管ください。

⚠ 警告 ヘルメットの保護能力には限度があります。

当製品は国の定める安全基準を十分満たしておりますが、いかなる事故や転倒に対しても、絶対安全というわけではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒の際の、外部からの衝撃を軽減するものに過ぎません。

⚠ 警告 必ず守っていただきたい注意事項

- **使用前点検を必ず行ってください。**
構成部品が正しく取り付けられていない場合、ヘルメットが本来持つ機能や保護能力を十分に発揮することができません。よく確認してからご使用ください。
- **頭に合ったサイズのヘルメットをご使用ください。**
大きすぎるヘルメットは走行中ぐらつき、大変危険です。また、小さすぎるヘルメットは頭を締め付け、痛くなる可能性があります。首を振ってもずれない、頭に合ったサイズのものをお使いください。
- **あごひもはしっかり締めてください。**
あごひもを締めなかったり、ゆるい締め方では、風圧でずれたり、万一転倒したときに脱げてしまい、頭を守ることができません。
- **走行中にエアーベンチレーションのシャッターを操作しないでください。**
走行中のシャッター操作は、オートバイの操縦に支障をきたす原因となり、大変危険です。必ず停止した状態で行ってください。
- **汚れや傷のついたシールドで走行しないでください。**
視界の妨げになりますので、汚れたシールドは走行前に汚れを落とし、傷のついたシールドは新しいシールド（別売）に交換してください。
- **走行中の環境変化にご注意ください。**
突然の雨や急激な温度変化によってシールドが曇る場合があります。このような状況が予測されるときは、走行前にシールドの開度を調整し、通常よりもスピードを抑えて走行してください。
- **大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上損傷がなくても使用しないでください。**
ヘルメットは、シェルおよび、衝撃吸収ライナーが潰れることで衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けた後は既に衝撃吸収ライナーが潰れている場合が多く、再度衝撃エネルギーを吸収することができないため、一度衝撃を受けたヘルメットを継続してしようすることは非常に危険です。外観に傷などがなくても使用しないでください。
- **ヘルメットの改造は絶対にしないでください。**
ヘルメットに穴を開けること、内部の衝撃吸収材を削ること、あごひもを改造するなど絶対にしないでください。万一のときヘルメット本来の性能が発揮できないため非常に危険です。また、脱着可能な部品を取り外したまま走行することも大変危険です。
- **ヘルメットおよびシールドのお手入れには薄めた中性洗剤を使用してください。**
お手入れには中性洗剤を薄めて柔らかい布で拭き取るようにしてください。熱湯（50℃以上）や塩水、ベンジン、シンナー、ガソリン等を使用すると、ヘルメット本体および、シールドに悪影響を与えますので、絶対に使用しないでください。

- **ヘルメットに塗料、接着剤、ガソリン、その他いかなる溶剤もつけないでください。**
シェルおよび衝撃吸収ライナーは、塗料や熱の影響により材質が侵され（変形や劣化）、衝撃吸収力が低下する場合があります。
- **ヘルメットは大切に取り扱いってください。**
ヘルメットは必ず本体またはあごひもを持って取り扱いってください。内装やシールドをつかんで持ち運ぶと、ヘルメットを落とす恐れがあります。また、ヘルメットをオートバイのホルダーにつけたままの走行は、オートバイの操縦に支障をきたすことになり大変危険ですのでおやめください。
- **ヘルメットを保管するときの注意事項**
ヘルメットは直射日光の当たる車の中や暖房機のそばなど、高温（50℃以上）の場所に長時間放置しないでください。熱により衝撃吸収ライナー等が変形して衝撃吸収力が低下する恐れがあります。また、落下しやすい場所（オートバイの上など）や高所での保管はしないでください。

各部名称



インナーバイザーの操作方法

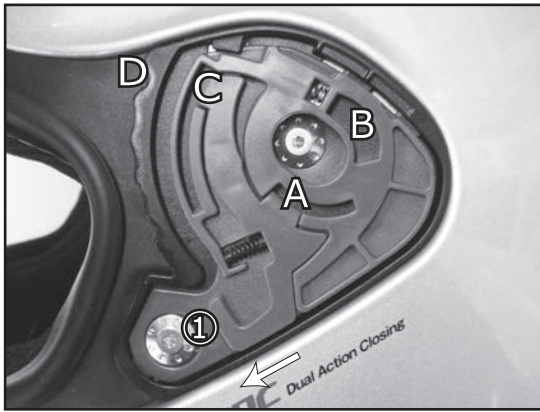


警告

トンネルや夜間走行をする時は視力低下を招き危険です。バイザーを上げた状態で走行してください。

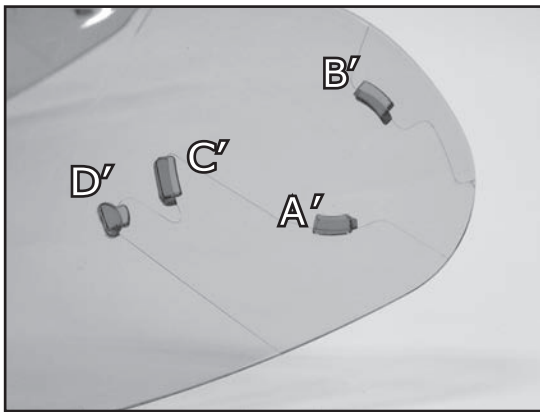
シールド横のインナーバイザー開閉スライドスイッチをスライドすることにより、インナーバイザーを開閉することができます。

■ シールドの脱着方法



シールドの取り外し

1. シールドを全開の状態ですっかり持ちます。
2. シールドをグレーのシールドベースごと前方に引き、D'のツメをはずします。
3. ①を矢印の方向に引くと残りのツメが同時に外れます。



シールドの取り付け

1. ①を矢印の方向に引きながらシールドベースのA'をAに、B'をBにはめ込みます。
2. シールドを全開の状態にします。
3. シールドをグレーのシールドベースごと前方に強く引いて動かし、C'をCに、D'をDにはめ込みます。



動画でも解説しています。
QRコードを読み取って
ご覧ください。

■ インナーバイザーの脱着方法



インナーバイザーの取り外し

インナーバイザーをしっかりと持ち、ヘルメット前方に引き抜きます。(反対側も同様です。)

インナーバイザーの取り付け

インナーバイザー収納部分の下のレールに沿うように差し込み、押し込んでください。
(反対側も同様です。)

装着後は、バイザーが正常に開閉するか確認ください。

■ あごひもの取り扱いについて



当製品は、簡単にあごひもの脱着および調整ができる「スライダーバックル」を採用しています。

! あごひもを正しく締めていない場合、万一のときあごひもが外れ、ヘルメットが
警告 脱げてしまい大変危険です。
車両に乗る前に確実にしまっているかご確認ください。



あごひもを締めるときは、スライダーバックルをブラケットに噛み合うまでしっかり差し込んでください。

あごひもの締め具合は、あごとあごひもの間に指が1～2本入る程度が適当です。

あごひもを外すときは、ブラケットのストラップを引いて外します。

■ エアーベンチレーションの操作方法



! 走行中のシャッター操作は大変危険です。必ず車両が停止している状態で操作
警告 ください。

当製品には、内部の温度調整を行うためのエアーベンチレーションを装備しています。

頭部に外気を取り入れる場合は、シャッターをスライドして開けてください。

また、寒い日や雨天時はシャッター閉めると、冷氣や雨などを遮断することができます。



■ インナーパッドの取り外し



チークパッド→センターパッドの順に取り外します。

ヘルメットを逆さに置き、ヘルメットとチークパッドをしっかりと持ち、チークパッド側の取り付けホックと芯材を取り外してください（反対側も同様）。

センターパッドを取り外すときは、まず、後頭部側のホックを外し、続いて前方のフックを端から順に引っ張り外します。



【注意】

パッドを取り外す際は、ホックの根元から外してください。

無理に引っ張るとホック部分が破損する恐れがあります。

■ インナーパッドの取り付け



センターパッド→チークパッドの順に取り付けます。

ヘルメットを逆さに置き、前方のヘルメット中央にインナーパッドのフック中央を合わせます。フックを端中央より順に強く押し込んでいきます。続いて後頭部のホックを取り付けます。

チークパッドの方向に注意し、あごひもをあごひもの通し口に通します。

パッドの両端にある芯材を帽体と衝撃吸収ライナーの間へ差し込みます。

最後にパッド裏側の取り付けホックをヘルメット側のホックにしっかりとめてください。（反対側も同様）



【注意】

チークパッドの方向は、取り付けホックの位置で確認してください。

乗車用ヘルメットの有効期限は「購入後3年」です。

ヘルメットは、使用に伴い老朽化・劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できないことがあります。このためSGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年」の有効期限を定めています。有効期限を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので、十分ご注意ください。また、3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損・改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので、十分ご注意ください。

製品安全協会／日本安全帽工業会

SGマークの被害者救済制度について

ヘルメットについているSGマークは、万一ヘルメット（シールド、インナーバイザーを除く）に欠陥があり、製品安全協会の定めるSG基準に適合していないため、着用者がケガをした場合など、身体的損害について賠償するものです。

ただし、オートバイを特殊な用途（プロオートバイレース、サーカス等）に用いる際の負傷や、SG基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けた場合の負傷等は賠償の対象になりません。

製品の欠陥により事故が起きた場合は…

賠償手続きは以下のとおりです。

1. 製品の欠陥による事故が起きたらすぐに製品安全協会 消費者生活用品PLセンターへ連絡してください。
2. 「事故発生届」または「賠償措置実施請求書」を提出してください。（原則として事故発生より60日以内）
3. 事故の状況をうかがうとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
4. 1.～3.までの調査結果を検討し、賠償するかどうかを決定します。

SGマークについてのお問い合わせ

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2F
一般財団法人製品安全協会 消費生活用製品PLセンター

TEL : 03-5808-3303 または 0120-11-5457

発売元 株式会社ウインズジャパン

〒921-8163 石川県金沢市横川3-20 (本部)
TEL (076) 2596560 FAX (076) 2596561